※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共」　（実教出版）						
副教材等	ライブ！２０２５公共、現代社会を考える　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現させる。
・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現させる。

２　学習の到達目標

・考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・それぞれが選択した現実社会の諸課題について，必要な知識を習得している。 ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について，必要な情報を収集し，読み取り，まとめることができている。	・それぞれが選択した現実社会の諸課題について問いを見いだし，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。	・よりよい社会の実現を視野に，それぞれが選択した現実社会の諸課題に関する多面的・多角的な考察や深い理解を通して，ともに生きる社会を築くという観点から，それぞれが選択した現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	倫理	・社会をつくる私たち ・人間としてよく生きる ・他者とともに生きる ・民主社会の倫理	a:青年期・自己形成について特徴を理解し，哲学者たちの提唱する論理を読み取り，公平性・人間の尊厳・自由・権利と責任・義務について理解することができる b:現実社会における問題について，倫理学を用いて多面的に考察し，適切に表現することができる。 c:よりよい社会の実現を視野に，青年期の意義や特徴への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	小テスト 定期考査 準拠ノートなど	定期考査 レポート 調べ学習 など	活動の様子の観察 レポート 口頭発表など
	政治	・民主国家における基本原理	a:民主政治の成立を理解し，基本原理を読み取り，民主政治の仕組みと課題について理解することができる b:民主政治の抱える問題について，政治学的な見地から多面的に考察し，適切に表現することができる。 c:よりよい社会の実現を視野に，青年期の意義や特徴への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	小テスト 定期考査 準拠ノートなど	定期考査 レポート 調べ学習 など	活動の様子の観察 レポート 口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

	現代の民主政治と日本国憲法	・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構と政治参加	a:日本国憲法について特徴を理解し，民主主義・自由主義のなかの日本の政治機構について理解することができる b:憲法に基づく政治を理解し，政治参加について能動的に行動し，社会にいかに参加するかについて多面的に考察し，その実行案について適切に表現することができる。 c:よりよい社会の実現を視野に，青年期の意義や特徴への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	小テスト 定期考査 準拠ノートなど	定期考査 レポート 調べ学習 など	活動の様子の観察 レポート 口頭発表など
後期	経済	・現代の経済社会 ・日本経済の特質と国民生活	a:市場の仕組みや経済を構成する3主体の特性を読み取り，日本における経済の特質と現代の国民生活とどのように相関しているかについて理解することができる b:現代日本が抱える経済的問題について，情報メディアとリンクさせながら多面的に考察し，これからの日本経済の展望について適切に表現することができる。 c:よりよい社会の実現を視野に，青年期の意義や特徴への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査 準拠ノートなど	定期考査 レポート 調べ学習 など	活動の様子の観察 レポート 口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

	国際・持続可能な社会づくりを目指して	・国際政治の動向と課題 ・国際経済の動向と課題 ・持続可能な社会を目指して	a:国際社会と法,国際経済について知り,現代のニュースを読み取り,国際協力のための論点・事例について理解することができる b:SDGs など,国際的社会問題について,情報メディアとリンクさせながら多面的に考察し,これからの協力と持続可能な社会の実現展望について適切に表現することができる。 c:よりよい社会の実現を視野に,青年期の意義や特徴への深い理解を通して,社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	小テスト 定期考査 準拠ノートなど	定期考査 レポート 調べ学習 など	活動の様子の観察 レポート 口頭発表など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度